

ご利用者様およびご家族様

新型コロナウイルス感染蔓延期への対策のお知らせとお願い

医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック
院長 大塚亮平
医療法人溪仁会 はまなす訪問看護ステーション
所長 馬場貴久

日頃から、手稲家庭医療クリニック・はまなす訪問看護ステーションの訪問サービスをご利用くださりまして、ありがとうございます。皆様におかれましては、今回の新型コロナウイルス感染の拡がりをご心配されていることと思います。

そこで、皆様に、当施設の考え方と対応、サービスを続けるための職員体制についてお知らせいたします。また、訪問にあたり皆様をお願いしたいこともお伝えします。

皆様には、何卒ご理解の上、ご協力いただきたくお願いいたします。

1. 新型コロナウイルス感染蔓延期への対策基本方針

当施設を必要としている方へサービス提供が継続できなくなることを避けること

当施設では、現在の状況下においても、通常通りのサービス提供を考えております。新型コロナウイルスの特徴は感染者の8割程度が無症状～軽症であるということです。そして、無症状～軽症者が媒介となり、感染拡大を引き起こしてしまうことが危惧されております。そのため、ご利用者やご家族の皆様、そして、訪問サービスを行う職員が、新型コロナウイルスに感染しているかもしれないことを想定した対応をいたします。訪問サービスを行う職員が実施している対策は以下の4点です。

1) 職員全員、毎日検温を行います。

37.5度以上の発熱やのどの痛み、咳やだるさ、味覚障害などといった症状が少しでもある場合は、新型コロナウイルス感染症の診断が付かなくても、症状が治まるまでの間は当該職員の訪問を控えさせていただきます。

2) 職員の家族等、周囲の体調管理を把握します。

職員の家族や身近な方に発熱等の症状がある場合には、その状況を医師・感染管理者と共に判断して、当該職員の訪問を控えさせていただく場合があります。また、学校等の休校により、出勤困難な職員が増えた場合、状態が安定されている方には訪問回数を減らすなどのご相談をさせていただく場合もあります。

3) 職員は訪問時、手洗いを徹底し、マスク着用でケアを行います。

ケア内容によりましてはガウンを着用することもあります。
手洗いの際は、洗面所の借用をお願いする場合がありますのでご協力をお願いします。

4) 研修会を含め、多くの人が集まる会への参加は自粛しています。

2. ご利用者様・ご家族様へのお願い

1) 職員は、訪問前にご利用者様・ご家族様に発熱などの症状がないか確認をさせていただきます。

2) ご利用者様が新型コロナウイルス感染を疑われた場合は、主治医と相談の上、対応させていただきます。他のご利用者様へのウイルス感染を予防するため、病状によっては、訪問を中止させていただくか、訪問を1日の最後の時間に変更させていただくことがあります。

3) ご家族様に発熱等の症状がある場合、職員が訪問サービスを実施している間は、別室にて待機していただきますようお願いいたします。

4) 診療およびケア提供中は、症状の有無に関わらず、ご利用者様および同席するご家族様のマスク着用をお願いいたします。マスクが不足している状況であるため、マスクの確保が難しい場合は、口と鼻が覆い隠せるのであれば、ハンカチやガーゼなどでも構いません。

5) 密閉状態を解消する方法の一つにお部屋の換気が有効とされております。つきましては、訪問サービス前後に、数分程度の換気を推奨いたします。

以上